

FDG-PET 検査における動態収集機能を用いた検査プロトコルの 検討

京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課 RI 検査室では、FDG - PET 検査を受けられた患者さんを対象に動態収集機能を用いた検査プロトコルの有用性について臨床研究を実施しております。実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長より適切な研究であると承認されています。

研究の目的

FDG-PET 検査は悪性腫瘍の診断評価において重要な画像検査となっています。当院の PET 装置が 2018 年 2 月に新しくなり、これまでの装置では不可能であった FDG を用いて全身動態収集法が可能になりました。そこで、この技術を用いた臨床データの解析から全身動態収集法による腫瘍の評価と検査プロトコルの有用性を評価します。

研究の方法

・対象となる方について

2018 年 2 月 1 日から 2020 年 2 月 29 日までの間に京都府立医科大学附属病院で PET 検査を受けられた方のうち、連続的な寝台移動を用いたダイナミック収集によるプロトコルで検査を受けられた方

・研究期間：医学倫理審査委員会承認後から 2026 年 12 月 31 日

・方法

当院で PET 検査を受けられた方について、FDG-PET/CT 画像データから得られた FDG（フルオロデオキシグルコース）の集積を表す指標を比較します。また、個人を特定できる情報を削除した PET/CT 画像や解析結果を、学会発表や論文発表等で使用する場合があります。

・研究に用いる試料・情報について

FDG-PET 検査で映し出された PET/CT 画像および PET/CT 画像データから得られた解析結果を、匿名化したうえで使用します。

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの FDG-PET 検査で映し出された PET/CT 画像をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日、患者 ID などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

研究成果を学会や論文等で発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合には、個人を特定できる情報を削除した PET/CT 画像や解析結果を使用する場合がありますが、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課 細谷 凌平）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・試料・情報の保存および二次利用について

FDG-PET 検査で映し出された PET 画像などの試料・情報は原則としてこの研究のために使用し結果を発表したあとは、京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課において、技師 細谷 凌平の下、10 年間保存させていただいた後、研究用の番号等を削除し、廃棄します。

保存した試料・情報を用いて将来新たな研究を行う際の貴重な試料や情報として、前述の保管期間を超えて保管し、新たな研究を行う際の貴重な試料・情報として利用させていただきたいと思います。新たな研究を行う際にはあらためてその研究計画を医学倫理審査委員会で審査し承認を得ます。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 技師 細谷 凌平

共同研究者

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 講師 中村 泰典

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 係長 堂本 宏志

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 技師 棚田 康友

京都府立医科大学附属病院医療技術部放射線技術課 技師 白子 公己

お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧

することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

京都府立医科大学附属病院 医療技術部放射線技術課 技師 細谷 凌平
電話 RI 検査室 075-251-5627 (平日 9時～17時)